

平成 30 年 5 月 12 日

生徒・保護者の皆様へ

創立記念日に寄せて

聖和学園高等学校

校長 戸井秀一

5 月 12 日は創立記念日です。今年は創立 88 周年、「米寿」になります。長寿のお祝いに米寿（88 歳）というものがあります。「米」の字をくずすと八十八と読めることに由来しています。とても喜ばしいことです。

昭和 4 年、宮城県仏教会が発足し、仏教主義による高等女学校設立が計画されました。同年 9 月、吉田つぎ女史から学校設立のための篤志寄付を受け、この篤志を基金として、当時の仏教会副会長であった伊澤平左衛門氏を設立者として、本学園の前身である吉田高等女学校が創立され、今年で満 88 年を迎えるに至りました。

右にあるのは「旧校章」と「現校章」です。「旧校章」は昭和 7（1932）年、当時の美術担当教諭であった内ヶ崎敏雄先生のデザインにより制定されました。中央は赤字で卍字を模様化、仏心印即仏教精神を象徴しました。周囲は緑色で三枚の菩提樹の葉を図案化、釈尊の菩提樹下成道を象徴しました。



旧校章

「現校章」は昭和 23（1948）年、同じく内ヶ崎敏雄先生のデザインにより制定されました。校名をつつんで向かい合っている葉は「菩提樹の葉」を、まわりの八角形は、仏教徒が理想の世界を実現する正しい生活の指針（道）である「八正道」を表しています。



現校章

現在、校章バッジの製作を進めています。まもなく出来上がりますので、生徒の皆さんは、渡されたときは、ブレザーの襟に付けてください。

5 月 12 日は本校の誕生日ともいうべき大切な日です。学校は休業日となりますが、皆さんはそれぞれの場所で、88 年の歴史を刻んできた輝かしい伝統に思いを馳せ、聖和学園の生徒であることに自覚と誇りを持って、創立記念日を迎えてください。